

2026年 第6週2月2日～2月8日

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141



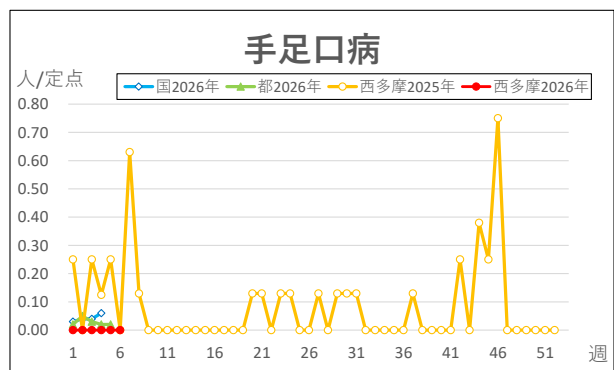
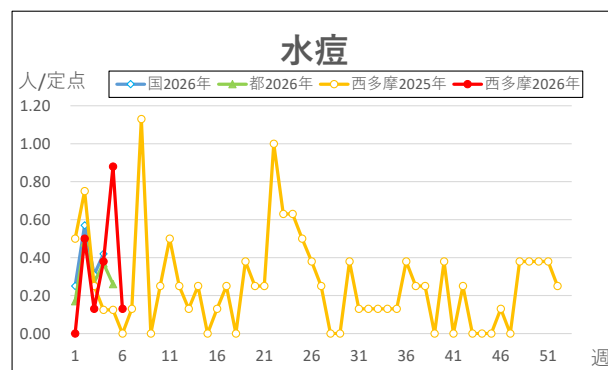
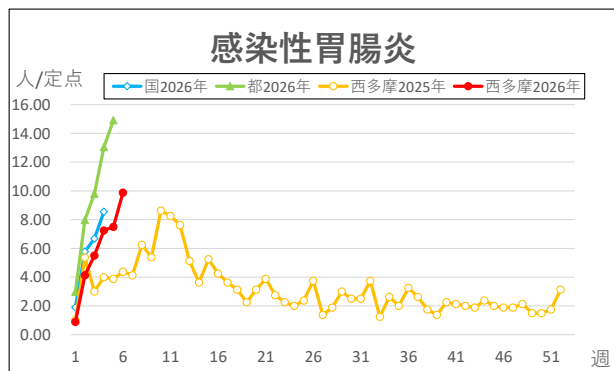
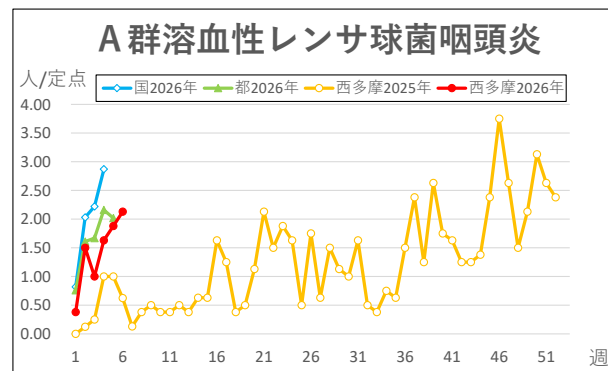
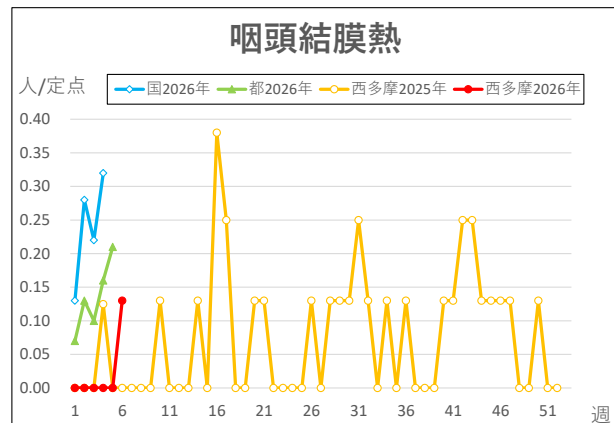
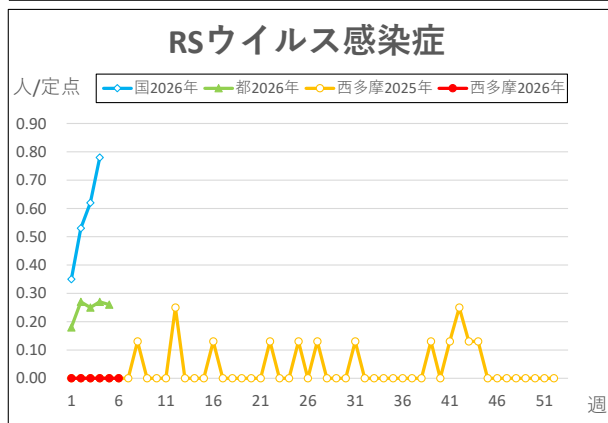
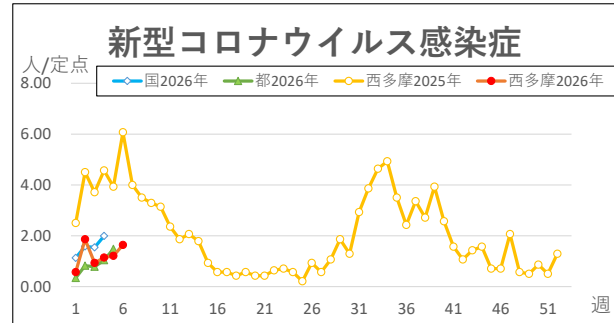
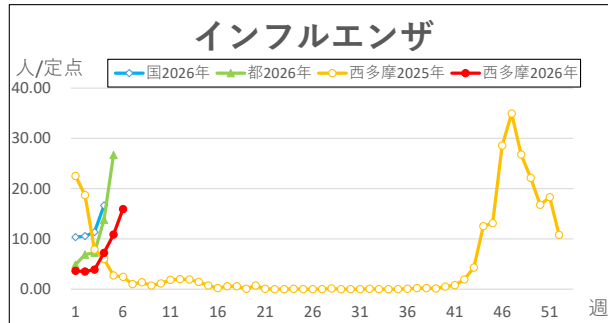
管内の発生動向及び定点把握対象疾患 () は内訳又は前週値

- 全数届出の疾患は、報告がありませんでした。
- 定点報告は、インフルエンザ15.93 (10.86)、新型コロナウイルス感染症1.64 (1.21)、咽頭結膜熱0.13 (0.00)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎2.13 (1.88)、感染性胃腸炎9.88 (7.50)、流行性耳下腺炎0.13 (0.00)、マイコプラズマ肺炎2.00 (1.00)、急性呼吸器感染症42.00 (29.50) で、前週より増加しています。

管内の感染症集団発生状況 () は内訳

- インフルエンザ1件(保育園)、新型コロナウイルス感染症2件(高齢者入所施設)、感染性胃腸炎1件(保育園)、多剤耐性緑膿菌感染症1件(医療機関)の報告がありました。

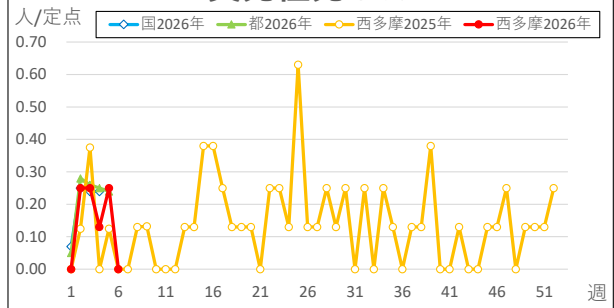
*国のデータは2週間遅れ、都のデータは1週間遅れで掲載しております。



伝染性紅斑



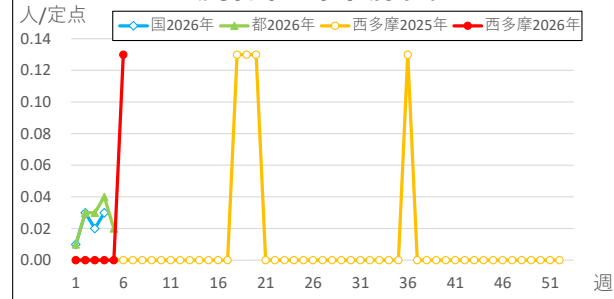
突発性発しん



ヘルパンギーナ



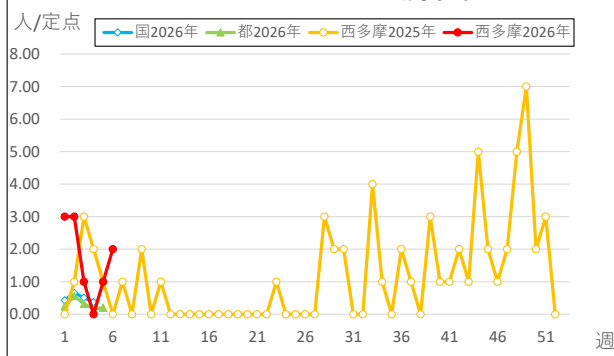
流行性耳下腺炎



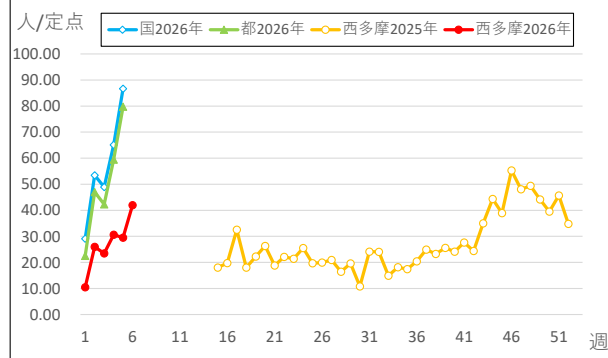
流行性角結膜炎



マイコプラズマ肺炎



急性呼吸器感染症（ARI）



今週のトピックス

密封された食品にご注意! ～ボツリヌス症～

ボツリヌス症は、ボツリヌス菌およびその一部のクロストリジウム属細菌が産生するボツリヌス神経毒素によって引き起こされる感染症です。日本では比較的にまれな疾患ですが、発症した場合は致死率が高く、予防と早期治療が重要となります。感染症法で四類感染症に指定されています。

その中でも今回は1歳以上の小児や成人に発症することのある『食餌性ボツリヌス症』についてお話しします。

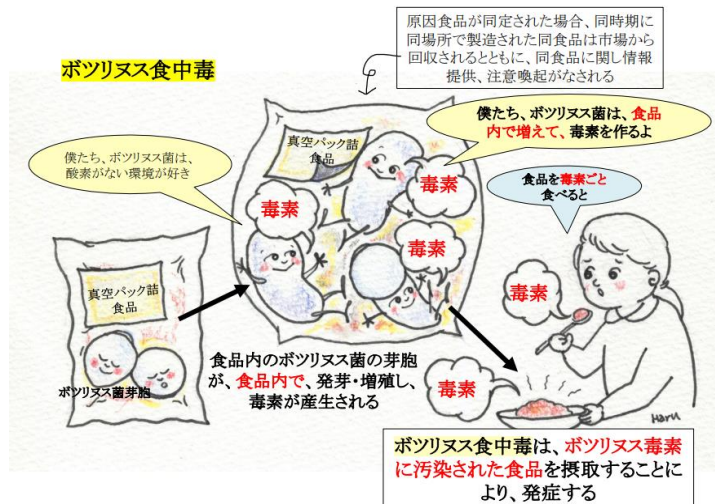


表1 ボツリヌス食中毒事例(1984年-2020年抜粋)

| 発症年 | 発症場所 | 患者数 | 原因食品 | 毒素型 | 発症年 | 発症場所 | 患者数 | 原因食品 | 毒素型 |
|------|-------|-----|----------------|-----|------|------|-----|-----------------|-----|
| 1984 | 14都府県 | 36 | カラシレンコン(真空パック) | A | 1995 | 青森県 | 1 | コハダのいずし | E |
| 1984 | 青森県 | 1 | 鰯のいずし | E | 1995 | 青森県 | 3 | ウグイのいずし | E |
| 1984 | 足利市 | 1 | 不明 | B | 1995 | 北海道 | 6 | 鮭のいずし | E |
| 1984 | 釧路市 | 6 | ハタハタ・鮭のいずし | E | 1996 | 茂原市 | 1 | 不明 | A |
| 1985 | 函館市 | 1 | 鰯のいずし | E | 1997 | 福島県 | 3 | ハヤのいずし | E |
| 1988 | 備前市 | 1 | 不明 | A | 1997 | 福島県 | 1 | イワナのいずし | E |
| 1988 | 札幌市 | 3 | 自家製鮭の調味乾燥品 | E | 1998 | 東京都 | 18 | グリーンオリーブ(瓶詰) | B |
| 1989 | 釧路市 | 1 | ニシンのいずし | E | 1999 | 大阪市 | 1 | 不明 | A |
| 1989 | 滋賀県 | 3 | ハスずし | E | 1999 | 柏市 | 1 | ハヤシライスの具(真空パック) | A |
| 1989 | 名寄市 | 2 | カレイのいずし | E | 1999 | 東京都 | 1 | 不明 | A |
| 1991 | 青森県 | 1 | ウグイのいずし | E | 2007 | 岩手県 | 1 | アユのいずし | E |
| 1991 | 広島市 | 1 | 不明 | A | 2012 | 鳥取県 | 2 | あずきばっとう(真空パック) | A |
| 1991 | 青森県 | 1 | アユのいずし | E | 2016 | 奈良市 | 1 | 不明 | A |
| 1993 | 秋田県 | 4 | 里芋(缶詰) | A | 2017 | 福山市 | 1 | 不明 | B |
| 1993 | 高槻市 | 1 | 不明 | 不明* | 2019 | 埼玉県 | 2 | 不明 | A |

*臨床症状から診断

※2020年以降は、2021年、2022年、2024年、2025年にそれぞれ1件ずつの報告があります

どのような病気ですか？

ボツリヌス菌が産生する毒素が含まれた食品を摂取することにより発症します。

潜伏期は数時間から48時間程度です。

症状は、眼瞼下垂、複視、嚥下困難などの麻痺症状が徐々に進行し、重篤な場合は呼吸筋麻痺が起こり、死に至ることもあります。

どのようにうつりますか？

食餌性ボツリヌス症は、真空包装食品、缶・ビン詰め食品（オリーブ・カラシレンコンなど）の摂取によって生じ得ます。以前はいずし（北海道・東北地方）摂取による発症例がありましたが、近年の報告はない状態です。

どのように治療・予防できますか？

成人の場合、早期の抗毒素の投与が推奨されます。

呼吸障害などが出ることがあるため、強力かつ集中的な治療が必要となることもあります。

ビン詰め食品の蓋を開けたときに嫌なにおいがした場合は要注意です。

菌を死滅させるためには、80℃30分間（100℃なら数分以上）の加熱を行うことです。

要冷蔵の食品を常温保存しないなど、適切な保存を心がけましょう。

乳児ボツリヌス症の予防のため、1歳未満の乳幼児にハチミツやハチミツ入りの食品は避けましょう。



国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト

<https://id-info.iijhs.go.jp/infectious-diseases/botulism/index.html>

東京都保健医療局 食品衛生の窓

<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/micro/boturinu.html>

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

| | 51週 | 52週 | 1週 | 2週 | 3週 | 4週 | 5週 | 6週 | 1週目からの累計 |
|-----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------|
| インフルエンザ | 256 (18.29) | 151 (10.79) | 51 (3.64) | 49 (3.50) | 54 (3.86) | 101 (7.21) | 152 (10.86) | 223 (15.93) | 630 |
| 新型コロナウイルス感染症 | 7 (0.50) | 18 (1.29) | 8 (0.57) | 26 (1.86) | 13 (0.93) | 16 (1.14) | 17 (1.21) | 23 (1.64) | 103 |
| RSウイルス感染症 | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 |
| 咽頭結膜熱 | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 1 (0.13) | 1 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 21 (2.63) | 19 (2.38) | 3 (0.38) | 12 (1.50) | 8 (1.00) | 13 (1.63) | 15 (1.88) | 17 (2.13) | 68 |
| 感染性胃腸炎 | 14 (1.75) | 25 (3.13) | 7 (0.88) | 33 (4.13) | 44 (5.50) | 58 (7.25) | 60 (7.50) | 79 (9.88) | 281 |
| 水痘（みずぼうそう） | 3 (0.38) | 2 (0.25) | 0 (0.00) | 4 (0.50) | 1 (0.13) | 3 (0.38) | 7 (0.88) | 1 (0.13) | 16 |
| 手足口病 | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 |
| 伝染性紅斑 | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 1 (0.13) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 1 |
| 突発性発しん | 1 (0.13) | 2 (0.25) | 0 (0.00) | 2 (0.25) | 2 (0.25) | 1 (0.13) | 2 (0.25) | 0 (0.00) | 7 |
| ヘルパンギーナ | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 1 (0.13) | 1 |
| 流行性角結膜炎 | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 |
| マイコプラズマ肺炎 | 3 (3.00) | 0 (0.00) | 3 (3.00) | 3 (3.00) | 1 (1.00) | 0 (0.00) | 1 (1.00) | 2 (2.00) | 10 |
| 急性呼吸器感染症（ARI） | 641 (45.79) | 487 (34.79) | 110 (7.86) | 364 (26.00) | 328 (23.43) | 429 (30.64) | 413 (29.50) | 588 (42.00) | 2,232 |

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。
 ○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。
 ○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。
 ○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。
 〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>
 国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>